

令和3年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）実績報告書

（令和4年1月）

研究代表者氏名（所属・職名）	宮前耕史（釧路校・准教授）						
プロジェクトの名称	食育実践力向上のための酪農家民泊体験実習プログラムの開発と効果測定方法の検討						
共同研究者氏名（所属・職名）	小野亮祐（釧路校・准教授）（釧路校教育委員会教育実習部会部会長） 半澤礼之（釧路校・准教授） 小林淳一（釧路校・准教授）						
研究プロジェクトの概要							
<p>第一次産業とりわけ酪農を基幹産業とする北海道東部の地域特性を生かし、食糧生産基地・北海道に所在する唯一の教員養成大学として、酪農家宅での作業体験・生活体験を軸とする食育実践力向上のための「酪農家民泊体験実習」プログラムの開発を行う。また、これと同時にその効果を検証するための効果測定方法の検討を行う。本研究は、釧路校教務委員会教育実習部会と、道東を中心とする道内の酪農家、自治体や教育委員会・農協・NPO法人・企業等、関係機関・団体との連携・協働により行う。</p>							
達成度	3	←番号を記入	<table border="0"> <tr> <td>1 計画とおり達成した</td> <td>2 概ね達成した</td> </tr> <tr> <td>3 あまり達成できなかった</td> <td>4 全く達成できなかった</td> </tr> </table>	1 計画とおり達成した	2 概ね達成した	3 あまり達成できなかった	4 全く達成できなかった
1 計画とおり達成した	2 概ね達成した						
3 あまり達成できなかった	4 全く達成できなかった						
<p>新型コロナウイルス感染症流行のため、その感染拡大防止の立場から、濃厚接触を伴う従来通りの酪農家民泊体験実習が実施困難であったため。一方、従来通りの酪農家民泊体験実習を代替するプログラムについて関係者間で協議・調整の上実施するとともに、酪農家民泊体験実習プログラムの効果を検証するための効果測定方法を検討することができた。</p>							
研究実績の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月10日（水）大学教員による講義（プロジェクトの趣旨、過去の取組みの紹介等） ・ 11月17日（水）根室地区農協青年部による講義（牛の生態・酪農の仕事） ・ 11月24日（水）コーディネーターによる講義（食農・地域研究の現代的意義について） ・ 12月1日（水）民泊体験受入れ酪農家による講義（酪農民泊体験の意義について） ・ 12月8日（水）感想共有およびプロジェクトに関する意見交換 ・ 12月15日（水）プロジェクト作成① ・ 12月22日（水）プロジェクト作成② ・ 1月5日（水）プロジェクト作成③ ・ 1月12日（水）JA北海道中央会根釧支所による講義（JAの仕組みと役割） ・ 1月19日（水）プロジェクト作成④（プロジェクトに関する意見交換） ・ 1月26日（水）プロジェクト作成⑤（プロジェクトに関する意見交換） ・ 2月2日（水）プロジェクト実行① ・ 2月9日（水）プロジェクト実行② ・ 2月16日（水）プロジェクト実行③ ・ 2月23日（水・祝）プロジェクト成果発表会 <p>* 1月12日（水）研究打ち合わせ。その他、メールやSNSを使用した打ち合わせを適宜実施。</p>							

研究成果の公表実績

【著書】

特になし

【学術論文】

- ・宮前耕史・半澤礼之「コロナ禍の地域学習―道東地域体験・根室酪農家民泊体験実習」2021年10月2日（土）、日本教育大学協会令和3年度研究集会（オンライン）
- ・半澤礼之・宮前耕史（印刷中）「酪農民泊体験での学びをとらえる方法とその評価―コンセプトマップの活用とその評価のためのルーブリックの開発」北海道教育大学釧路校 ESD 推進センター『ESD・環境教育研究』第24巻第1号

【学会発表】

特になし

【普及啓発イベント、セミナー、研修会等】

- ・2月23日（水・祝）プロジェクト成果発表会

【研究成果の紙媒体、報告書、研修資料等】

- ・成果報告用リーフレット『教育フィールド研究Ⅶ―根室酪農家民泊体験実習（2021）』（作成中）

【関連URL】